富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山湾における鯨類（Cetaceans)の記録（2001年）

著者	南部 久男, 稲村 修, 田島 木綿子, 倉持 利明, 山田 格
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	25
ページ	129-132
発行年	2002-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=775

富山市科学文化センター研究報告第25号，pp.129-132；(2002)

短　報

富山湾における鯨類(Cetaceans)の記録(2001年)*

南部久男[1)]，稲村修[2)]，田島木綿子[3)]，
倉持利明[4)]，山田格[4)]
富山市科学文化センター[1)]，魚津水族館[2)]，
東京大学大学院農学生命科学研究科[3)]，
国立科学博物館動物研究部[4)]

Stranding records of Cetaceans from the coasts of Toyama Prefecture, Toyama Bay, during the year 2001.

NAMBU, H., INAMURA, O., TAJIMA, Y.,
KURAMOCHI, T. and YAMADA, T.K.

富山湾（富山県側）では，10種の鯨類，2種の鰭脚類の海棲哺乳類が記録されているが（石川・山田，2001；表1），今回2001年に富山湾（富山県側）で確認した種確定3例，不明種2例のクジラ目について報告する。

富山湾で確認された鯨類

2001年の2月～10月にかけての富山湾沿岸での鯨類の確認状況等は下記の通りであり，確認地点を図1に示す。

1．ミンククジラ　*Balaenoptera acutorostrata*　ナガスクジラ科　Balaenopteridae　図2
場　所：氷見市中泊の海岸
確認日：2001年10月1日
状　況：10月1日に同上の海岸に漂着。10日程前より漂流していたらしい。10月2日，富山県氷見土木事務所により依頼された地元の産業廃棄物処理業者により処分された。
計測値：オス。全体に腐敗がひどく，吻部は欠損していた。全長約4.7m。体重1.5トン（推定）。
確認者：桶田俊雄氏（のとじま水族館，10月1日現地確認），南部久男（10月1日現地確認，10月2日処分立会い）
備　考：頭骨一部，頚椎，胸椎，尾椎，左肩甲骨，上腕骨，橈骨，尺骨等など収集する（富山市科学文化センター所蔵）。

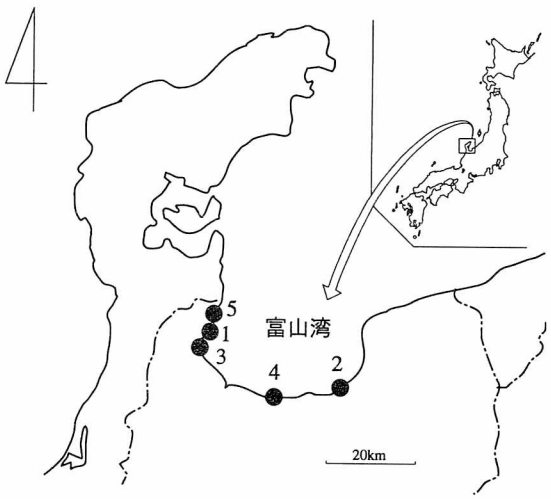


図1　確認地点

数字は本文中の番号と対応（1．氷見市中泊，2．魚津市三ケ，3．氷見市松田江浜，4．富山市岩瀬，5．氷見市姿）

2．カマイルカ　*Lagenorhynchus obliquidens*　マイルカ科　Delphinidae　図3
場　所：魚津市三ケ地区の沿岸
確認日：2001年4月20日の午前8時30分頃から午前9時過ぎ頃まで。
状　況：5頭から10頭くらいの群れが，5グループほど見られた（全体では25から50頭）。水面で呼吸をしたり，小さくジャンプをしていた。確認場所付近では，海岸から約20メートル沖合いに離岸堤が設置されているが，カマイルカはその離岸堤近くまで来ることもあった。午前9時頃になると，徐々に西の滑川市方向の沖合いに群れが移動し，見えなくなった。
確認者：稲村修（魚津水族館）

3．ハンドウイルカ　*Tursiops truncatus*　マイルカ科　Delphinidae　図4
場　所：氷見市松田江浜
確認日：2001年2月25日
現地調査：南部久男
状　況：午前9時頃に氷見市松田江浜を歩いていた人が波打際で漂着死体を発見し，氷見市海浜植物園に連絡した。同日午後3時頃に科学文化センター南部が現地調査を行い，2月27日～28日にかけ国立科学

*富山市科学文化センター研究業績第269号

表１　富山湾（富山県側）で記録されている海棲哺乳類（今回の報告も含む）

石川創（日本鯨類研究所）作成による（2000年12月31日までのデータ）（石川・山田，2001）。

クジラ目　Order Cetacea
ヒゲクジラ亜目　Suborder Mysticeti
　ナガスクジラ科 Balaenopteridae
　　ミンククジラ *Balaenoptera acutorostrata*
　　イワシクジラ *Balaenoptera borealis*[*1)]
　　ザトウクジラ *Megaptera novaeangliae*
ハクジラ亜目 Suborder Odontoceti
　アカボウクジラ科 Ziphiidae
　　オウギハクジラ *Mesoplodon stejnegeri*
　マイルカ科 Delphinidae
　　オキゴンドウ *Pseudorca crassidens*
　　ハナゴンドウ *Grampus griseus*
　☆ハンドウイルカ　*Tursiops truncatus*
　　カマイルカ　*Lagenorhynchus obliquidens*
　　マイルカ（ハセイルカ）　*Delphinus capensis*[*2)]
　ネズミイルカ科 Phocoenidae
　　ネズミイルカ *Phocoena phocoena*
　　イシイルカ（イシイルカ型）　*Phocoenoides dalli* (dalli type)

食肉目　Order Carnivora
　アシカ科　Otariidae
　　オットセイ*Callorhinus ursinus*[*3)]
　アザラシ科　Phocidae
　　ゴマフアザラシ *Phoca largha*

*1) 石川県など日本海側各地の漁業関係者の間ではミンククジラをイワシクジラとすることが多い。石川（1994）も，イワシクジラとして報告されているストランディング及び混獲データについてミンククジラの可能性を示唆している。日本海でイワシクジラ *Balaenoptera borealis* が研究者によって確認されたことはなく，日本海で過去報告されたイワシクジラはおそらくミンククジラと考えられる。

*2) 小川（1936）は，長崎県地方で採集された長吻型のマイルカ属のイルカについて，*Delphinus capensis* の学名をあて，現地で「ハセ」と呼ばれているらしいことからハセイルカという和名を提唱した。最近日本海沿岸各地で採集されたマイルカ属の個体には，このハセイルカに特徴が類似しているものが多い。Heyning and Perrin (1994) はカリフォルニア南部に同所的に分布する長吻型と短吻型のマイルカについて検討し，前者を *D. delphis* 後者を *D. capensis* とした。Roselら（1994）は，この２タイプのmtDNA解析によって遺伝子的にも明瞭な差があるとしている。ロンドンの自然史博物館に所蔵されている *D. capensis* のタイプ標本は，喜望峰沖で捕獲された個体であり，この南カリフォルニアの *D. capensis* と特徴が一致すると結論されているが，遺伝子レベルの比較は現状ではなされていない。小川のハセイルカ（*D. capensis*）がこれらと一致するか否かの検討は十分にはなされておらず，今後の検討課題であるが，当面「ハセイルカ」という和名はこれらの個体に使用してもよいのではないかと思われる。

*3) 南部他（2000）で報告した。

☆　今回の記録

博物館動物研究部へ搬送され，剖検された。剖検の詳細は国立科学博物館，鳥取大学で検討されている。

計測値
- 性別　メス
- 体長（上顎先端～尾ビレ正中の切痕底）196cm
- 胴周（腋窩）　103ｃｍ
- 胴周（肛門）　59ｃｍ

４．種不明　　図5
場　所：富山市岩瀬沖
確認日時：2001年5月13日午前9時頃
状　況：高松氏が釣りのためボート（長さ21フィートの船外機）で岩瀬沖約300mに出た時に1頭のイルカに出会った。その後，約5ノットで富山港に入港した約30分の間，イルカは船の下へ潜ったり，船に並んで泳ぎ，岸まで約50mのところまでついてきた。イルカとの距離は5mほどであり，約30秒に1回顔を出した。その後，ボートを沖へ向わせスピードをあげたところイルカはついてこなかった。他の釣り人の話ではしばらく留まっていたようである。体長2.5m程で，背ビレがあり，体は茶色っぽく，吻はフグのような形であった。毎年1・２月から5月にかけ富山湾でイルカを目撃し，2001年は特に多く見かけたが，今回のような頭の形のイルカは初めて見た。（高松氏より南部が聞き取る）
目撃者：高松昭夫氏（富山市）
備考：ハナゴンドウ *Grampus griseus* の可能性がある。

５．種不明　　図6
場　所：氷見市姿海岸
確認日：2001年5月28日
状　況：午前9時頃発見。体長約2m。
情報提供：富山県氷見土木事務所
備考：かなり腐敗している。写真から判断する限り露出している肋骨の形状から小型鯨類，想定される体長などからマイルカ科の個体と思われる。

富山湾（富山県側）では，1957年～1999年にかけ4科10種の鯨類，2科2種の鰭脚類の海棲哺乳類計25件が記録されている（石川，山田，2001；表1）。今回確認されたハンドウイルカは富山湾では初記録である。

石川，山田（2001）によれば，隣接の石川県で確認されているクジラ目は，富山県で確認されているザトウクジラ及びネズミイルカを除く種に加え，シロナガスクジラ *Balaenoptera musculus*（ナガスクジラ科 *Balaenopteridae*），オガワコマッコウ *Kogia simus*，（コ

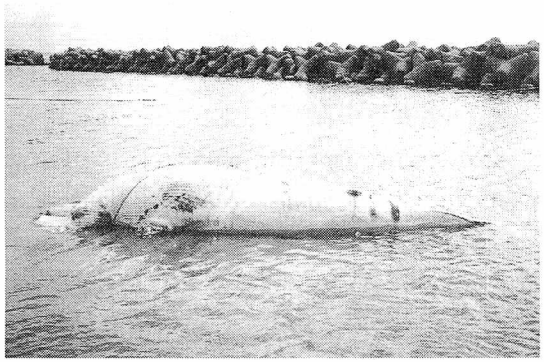


図２　2001年10月1日，氷見市中泊の海岸で発見されたミンククジラの漂着死体（南部久男撮影）



図３　2001年4月20日，魚津市三ケ地区の海岸から目視されたカマイルカ（稲村修撮影）



図４　2001年2月25日，氷見市松田江浜で発見されたハンドウイルカの漂着死体（南部久男撮影）



図５　2001年5月13日，富山市岩瀬沖で目視された種不明遊泳個体（高松昭夫氏撮影）

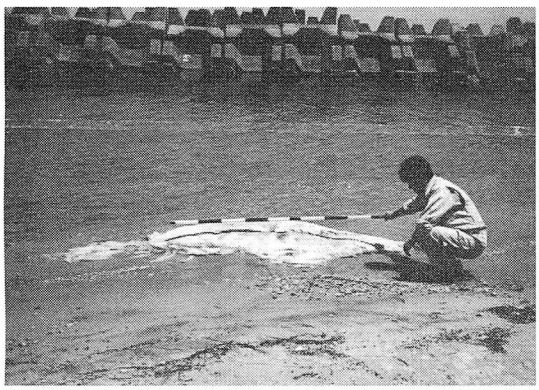


図６　2001年5月28日，氷見市姿で発見された種不明の漂着死体（富山県氷見土木事務所提供）

マッコウ科 Kogiidae），ツチクジラ *Berardius bairdii*，（アカボウクジラ科 Ziphiidae），スナメリ *Neophocaena phocaenoides*（ネズミイルカ科 Phocoenidae）が報告されている。食肉目では，トド *Eumetopias jubatus*（アシカ科 Otariidae），ワモンアザラシ *Phoca hispida*（アザラシ科 Phocidae）が確認されている。なお，シロナガスクジラは新聞情報による。また，桶田，佐野（1999）によって，アゴヒゲアザラシ *Erignathus barbatus*（アザラシ科）も確認されている。

日本海沿岸では，種の同定が不確実な記録もあるが，27種の鯨類と5種の鰭脚類が報告されている（山田，1999）。富山県から石川県の沿岸にかけては，14種の鯨類，4の鰭脚類が確認されたことになる。

謝辞

富山県氷見土木事務所，氷見市海浜植物園，富山県水産漁港課には貴重な情報並びに調査に御協力いただきました。高松昭夫氏（富山市），桶田俊雄氏（のとじま水族館）には，貴重な情報を提供いただき，太田希夫氏（富山市）には現地調査に御協力いただきました。関係各位に厚くお礼申し上げます。

参考文献

Heyning, J.E. and W.F. Perrin 1994. Evidence for two species of common dolphins (Genus *Delphinus*) from the eastern north Pacific. Contribution in Science 442:1-35.

石川創, 1994. 日本沿岸におけるミンククジラの漂着

及び混獲記録 (1960-1992). 日本海の鯨たち, 4:7-15.
石川創, 山田格. 海棲哺乳類ストランディングデータベース. [引用2001-12-14]. 東京, 国立科学博物館動物研究部ウエブサイト： http://svrsh1.kahaku.go.jp/index.htm
南部久男, 田島木綿子, 荻野みちる, 倉持利明, 山田格, 田中豊, 2000.富山湾氷見市の海岸に漂着したオットセイについて. 富山市科学文化センター研究報告. (23) ：169-171
小川鼎三, 1936. 本邦の歯鯨に關する研究（第1回）. 植物及び動物 4:1159-1171.
桶田俊郎, 佐野修, 1999.第2部海生哺乳類, 第1章石川県の海生哺乳類. pp.107-121. 石川県の自然環境シリーズ.石川県の哺乳類.石川県.
Rosel, P., E.A.E. Dizon, and J.E. Heyning 1994. Genetic analysis of sympatric morphotypes of common dolphins (genus *Delphinus*). Marine Biology 119:159-167.
山田格, 1999. 第2部海生哺乳類, 第2章日本海の海棲哺乳類. pp.122-129. 石川県の自然環境シリーズ.石川県の哺乳類.石川県.